

桜友会報

第4号
2010.3.31

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

OGバンドが盛り上げる

総会・懇親会 初等部60周年事業検討へ

桜友会第4回総会・懇親会が昨年（2009年）9月27日、学園本部館大会議室で開かれた。今総会は任期3年の役員改選の時期に

あたるが、全役員が再任された。また、昭和小学校が2013年に創立60周年を迎えることから、記念事業の検討に取り組むことなどを含んだ活動計画が承認された。

その後懇親会に移り、来賓の前原金一副理事長、顧問の江口雄輔校長、来賓の大野あや子父母の会副会長から挨拶があった。また出席いただいた恩師の先生方の紹介に続き、「私が昭和でかわった最後の生徒が今年還暦を迎えた」という恩師の増田敬先生が乾杯の音頭をとられた。

また、今年新たに桜友会会員となった中学一年生のうち出席した81人が壇上へのぼり、歓迎の拍手をうけ、各クラスを代表してそれぞれ一人ずつ初等部時代に一番思い出に残ったことを語った。1組の星美優さんは、昭和祭のクラステーマに吉田松陰を取り上げたが、まともななかったクラスが最後の1週間で一致団結して完成させた思い出を語った。また、2組の上田将太郎さんは、1年生のスクールカラーこども会、3年生の東明学

林宿泊行事から6年生の日光・奥白根登山まで各学年でのさまざまな思い出を、また3組の向山綾乃さんは、6年生最後の球技大会で女子クラスながら3位をめぐし、ドッジボールで惜しくも4位になつたが、富永先生から努力したごほうびに全員があつまる今度のクラス会でアイスクリームをごちそうしてもらえる約束があることを報告した。

今回のアトラクションは、35回生の筒井星子さん（現初等部教諭）をリーダーにOGの中高校生で作った吹奏楽バンド「ティーム・カレンツ」の演奏。「津軽海峡・冬景色」からスタートし、アンコール曲の「暴れん坊戦艦」まで6曲を、夏休みに何度も集まって練習した成果を披露して大きな拍手を浴びた。

恒例となつたジャンケン大会は、1等のデジタルカメラのほか人見理事長から提供いただいたオーストラリアのワインやチョコレート、東明学林のみかん引換券などさまざまな賞品をめぐり熱い闘いとなつた。1等のデジタルカメラは新入会員の落合紫帆さんが獲得した。

△出席いただいた恩師（敬称略）▽
有賀三奈子、大坪良穂、塚田義明、増田敬、（以下現職）青谷宏美、江口雄輔、黒澤勝良、田中聖夫、田中律子、筒井星子、奈木野昌一、萩原志保、松下益子

△アトラクション演奏「ティーム・カレンツ」参加者（敬称略）▽
△35回生 筒井星子△47回生 今城果絵、折原有美、大塚玲奈、松本倫奈、安藤早織、糸井佐織、吉崎紅里、鈴木美沙、森田小百合、大橋奈央、児島唯△48回生 田中やよい、中野彩△50回生 落合さつき、海老沢彩、石津蓮歩、市川綾鏡、高須日葵、蜂谷友理△51回生 佐藤夏佳、関口桜子

活動報告

（2008年10月～2009年9月）

1 学年幹事会の開催

初の学年幹事会を5月9日、学園本部館で開催し、27人の参加を得た。（桜友会報で開催日が4月25日となっているのは誤り）。委員会から年一回の幹事会を開くので会員の声を聞かせて欲しいこと、クラスメートの動静を把握することなどを要請した。幹事の皆さんからは、同窓会活動について様々な建設的な意見が出された。なお、幹事会後に懇親会を開き親交を深めた。

2 会報の発行

学年幹事会開催を掲載するため、6月1日発行をめざしたが、作業の遅れで6月20日付けとなつてしまった。内容面では、恩師の南雲良子先生に寄稿をいただいたほか、学年ごとの会合について積極的な投稿があり、充実したものとなった。

活動計画

（2009年10月～2010年9月）

1 母校創立60周年記念事業

1953年に創立された母校は201



3年に60周年を迎える。桜友会として記念事業を行うこととし、本年度は記念事業遂行のための態勢・組織作りを行う。

2 会報の発行

会報第4号を発行する。発行時期は、2010年の早い時期を目標とする。

3 学年幹事会の開催

前年に引き続き学年幹事会を開催し、役員会と会員、各学年間の交流を活発にする。

4 レクリエーション活動の実施

会員の親睦を深めるためのレクリエーションを実施する。詳細については後日、学年幹事会を通じ、またホームページで連絡する。

第2期 本部役員(数字は卒業回数)

顧問… 人見楳子理事長

江口雄輔校長

委員*会長 中田彰生(1) ▼副会長 粕谷佐知子(4)、吉田昌史(6) ▼会計担当 川上美ゆき(1) ▼会報担当 太田鈴子(3)、師岡文男(8) ▼名簿担当 瀬村寿美男(11)、小園江園香(18)、前之園香世子(21) ▼ホームページ担当 筒井星子(35)
 監事*竹山恵美子(11)、黒崎瑠美子(32)

今年の総会・懇親会は

9月26日に開きます

今年の桜友会総会・懇親会は9月26日(日曜日)に、学園本部館3階大会議室で開催予定です。今年も楽しい集いとなるよう準備を進めます。

詳細は8月中にお知らせします。

平成21年度(2009)会計報告 4月-9月

収入の部		支出の部		
繰越金		4,212,343	会報費	585,402
年会費	1,076,000		年会費用振替為替用紙	7,700
銀行利息	213		事務費	462
			通信費	200
			慶弔費	16,485
			会議費	12,420
			総会費	718,905
総額	1,076,213		10月よりの繰越金	1,341,574
				3,946,982
合計		5,288,556		5,288,556

デジカメで思い出を残したい ジャンケン大会まさかの優勝

落合紫帆(51回生)



卒業式から半年たった9月の最終日曜日に、私は桜友会の同窓会に参加しました。私は中高部へ進学したので、ほとんどの友達とは毎

日、会うことが出来ませんが、外部進学した友達とはなかなか会えませんが、外部進学をした友達がどんな風になつたか、とても楽しみでした。その反面、卒業前のように話せるか心配でした。しかし、初等部にいたときのように話すことができました。

楽しく友達と話をしている中、「ジャンケン大会」が催されました。江口校長先生と同窓会に参加している人たちとでジャンケンをしました。私は、何が商品なのかを知らないままジャンケンをして最後まで勝ち残り、デジタルカメラをいただきました。本当にびっくりして、うれしい気持ちでいっぱいになりました。私はすぐに物を壊したり、なくしたりするそそっかしいところがあるので、大切に大事に使わなくてはと思いました。

この学園にはたくさんさんのイベントがあります。友達との日々の生活や家族での旅行など、たくさんさんの思い出を、いただいたカメラで撮っていきたいと思います。そしてアルバムにして、大人になつたとき、ゆつくりと思ひ返せるようにしたいものです。

桜友会ではたくさんのお友達やお世話になつた先生方にも会えたり、大先輩の方々から、人見先生のことや、いまの学園ではなく昔の学校の様子などを教えていただきました。とても充実した時間になりました。

私は中高部で水泳部に入りました。もともと私は水泳を習っていたことが入部の動機です。練習はがんばっていますが、時々参加するのが面倒くさくなつてしまひ、練習を休みがちになりそうです。で

もそんな時、初等部で教わつた、あきらめず最後まで努力して、やりとげることを出していただきます。だから絶対に練習を休まないようしたいです。

私は、将来、水泳関係やスポーツ関係の仕事につきたいと思つています。だから、もつと水泳のことや他のスポーツのことを知つて、夢に向かつていきたいです。

「昭和の味覚」満喫

東明学林でみかん狩り

桜友会会員と家族が参加してのみかん狩りが、昨年12月13日の日曜日に東明学林で行われた。会として初めてのレクリエーション行事となつた。

親子で参加した方々など計23人。10時30分に現地集合し、簡単な説明を受けたあと、学寮裏山のみかん畑へ。職員の方々にコツを教わつてみかん狩りを開始。ときおり刈り取つたみかんを味わいながら、よく熟した実を選んでもいだった。



あいにくの曇り空で肌寒い天候だったが、急斜面のみかん畑を上り下りしたり、はしごに登つてみかんを取っているうちに体もぼかばかに。1時間あまりで、おおきなプラスチックケースが一杯

になった。
昼食後、もいだみかんをダンボールに詰めて1家族が20kgずつを車に乗せて家路についた。

事故で受けた 障害乗り越え復活

34回生・長屋さんが母校で講演



自動車レース中の事故で重度の障害を負いながら、不可能といわれたレースに復帰した34回生の長屋宏和さんが1月25日、初等部の文化行事で「それでも僕はあきらめない」と題して講演を行った。

長屋さんは14歳からドライバーとしてレースを始め、全日本F3選手権で参戦し期待を集めたが、2002年10月のレースで大事故にあり、手足に麻痺が残る重度障害者となった。しかし、不屈の努力でリハビリを続けてレースに復帰、2004年に指の使えないドライバーがカートレースを無事完走するという世界初の快挙を達成した。

その後、車いすを使う人のためのファッションブランドを立ち上げる一方で、F1チャンピオンの夢に向かって訓練を続けている。

講演では、初等部時代の思い出から、レーサーを目指しての海外武者修行、突然の事故から復活までの努力、これからの目標などについて熱く語り、児童のほ

か参加した父母の方たちにも感銘を与えた。

文化行事での講演について、長屋さんは「桜友会会報」に次のような感想を寄せてくれた。

◆ 昭和小学校を卒業させて頂きました長屋宏和と申します。

2010年1月25日、母校である昭和女子大学附属昭和小学校の皆さんに講演をさせて頂きました。

私が小学校に在学中、人前に立つことが苦手でもさか自分が人見記念講堂の壇上に立つことは考えてもいませんでした。しかしこうして講演活動が続ける中で、「いつか母校で講演をさせて頂きた

第二の人生のスタート、 趣味を生かして「一人蚤の市」

大隅 剛 (5回生)



5回生のわれわれは今年還暦、サラリーマンだと定年を迎えます。ある人から聞いたところによれば、定年後にやりたい事のベストワンは、陶芸やそば打ちを抑えて農業なのだそう。そういえば僕のまわりにも、家庭菜園を借りたり田舎暮らしをはじめたりする人をたくさん見かけます。

定年後に限って言えば、仕事人間より

い」という目標を持ち、講演活動が続ける頑張りにもつながっており、実現することが出来ました。

◆ 夢は大きく、目標は大小関係なくたくさん作り、その目標をクリアするごとに夢へ近付いていきたいと思つています。昭和つ子の皆さんにも夢をもつて成長して欲しいです。

日々、小さなことでも感謝する気持ちを持ち、「ありがとう」という言葉を出すことで笑顔が生まれます。感謝の気持ちを忘れずに頑張つて欲しいです。

◆ 昭和つ子への講演と言う素晴らしい場を頂きありがとうございます。

も趣味人間のほうが、その後の人生の適応能力に勝っているようです。僕の場合、趣味人間というほど多趣味ではないのですが、30数年間のサラリーマン生活を通じて、骨董収集がストレス発散の道楽でした。小さな骨董店を営みながら好きな骨董に囲まれて暮らす、そんな夢を抱きながらのサラリーマン生活に、昨年春に終止符を打ち、定年より1年早くに会社を退職しました。

骨董店開店まではまだ道半ばという感じですが、思い切つて昨年11月に代々木上原の知り合いのギャラリーを借りて「一人蚤の市」を開催しました。何しろ30数年間に集めまくったガラクタで家はまさにゴミ屋敷状態、並べるものには事欠きません。そろそろガラクタ(自分にとってタカラモノですが)を次の人にバトンタッチする、そんな思いも込めて

長屋さんの講演終了後、短い時間でしたがお話しすることが出来ました。初等部卒業後、進学先の学校で登校拒否になりそうな時、レーサーになるという目標を持つことで乗り切れた事。レースに誘ってくれた友、少年を一人の個人として導いたレース関係者、洋裁をしながら応援してくれた母、そして多くの彼にかかわる人々について、暖かく感謝の気持ちをこめて話してくれました。車いす利用者の為のファッションは、バリアフリーや車椅子を利用する人々の行動の自由を拡大するという大きな事業だと思えます。長屋さんの今後のご活躍を期待しています。講演をありがとうございました。

(吉田)

やりました。

9日間という短い期間ではありましたが、小・中・高校時代の級友や先生方、会社の仲間、親戚一同にもご来場いただき、予想外の盛況のうちに終えることができました。骨董目当てというよりも、久々に顔を見に来たという人も多かったです。適切な言い方ではありませんが、まさに出会い系骨董市という感じで、貴重な体験をすることができました。並べる品物はまだまだあります。今年もぜひ「一人蚤の市」にチャレンジしたいと思つています。

桜友会の皆さまの中にも骨董にご興味のある方がおられましたら、桜友会事務局にご一報ください。次回のご案内状をお送りさせていただきます。ということとで誌面をお借りしてのPR、失礼いたしました。

百木先生も秋田から 4回生が還暦同期会



去る1月16日、渋谷のイタリアンレストランにおいて、恩師の増田敬先生、有賀三奈子先生、百木史郎先生をお招きして、4回生の還暦記念同期会が開催されました。百木先生は秋田県から、有賀先生は毎回欠かさずご出席ください。

さん（旧姓瀬戸さん）のお店で、われわれの溜まり場となっているお店です。いよいよ今年還暦を迎えるにあたり、クラス会をやるとういう話になり、幼稚園時代の先生やお母さんたちにも声をおかけいたしました。

当日の参加人数は20名、1次会は午後2時から始まったのですが、2次会も「まめや」を借りて夜10時頃まで、近況報告や昔の思い出話に花が咲きました。先生は小学校時代の杉本先生と宮川先生、幼稚園時代の旧姓新谷先生と板倉先生、それにお二人のお母さんにも参加していただきました。特に幼稚園時代の先生やお母さん方とは半世紀ぶりの再会となりました。はるばる四国から駆け付けてくれた仲間もいました。

り、また増田先生はカメラマンをかって出てくださるなど、この会を盛り立てて頂いたこと感謝の念に堪えません。同期生では四国の松山市から参加した村上恵一君など、普段なかなか会えない仲間21人が出席、各人が近況やこれまでの思い出などを述べ合い、旧交を温めました。お酒が入る前に、ということ撮ったのがこの集合写真です。60年の歳月を経ている割には、皆ハツラツとしていように感じませんか。

（4回生、鏑木順治郎）

幼稚園の先生や母親も参加 5回生2組のクラス会開く

昨年10月24日に5回生2組のクラス会が開催されました。場所は西神田のレストラン「まめや」。ここは5回生の宮代



現在連絡のとれない人もいるので、途中でやめた人も含めて、名簿作りをスタートさせたところ。今年には還暦クラス会を予定しています。

桜友会も1回生が還暦を迎えるにあたり活動が再開されたと同っています、われわれもいよいよ今年還暦を迎えることとなります。5回生の2組の卒業生は、男子17名、女子17名の34名です。残念ながら故人となった仲間も2名います。人生のひとつの区切りを迎えるに際して、縁あつて一緒になった仲間が今一度旧交を温めたい、そんな思いを多くの人が抱いているようです。

多くの仲間が第2の人生をスタートさせるわけですが、クラス会を通してまた新たな人間関係が構築できれば、人生をより実りあるものにできるのではないのでしょうか。

（5回生・大隅 剛）

ハワイに魅せられて 8回生・大崎さん初個展



会社勤めの合間に、大好きなハワイを題材にした絵を描いてきた8回生の大崎啓博さんが、1月31日から1週間、京橋のアートスペース「羅針盤」で初の本格的個展を開いた。

絵を描き始めたのは1997年、ハワイ島の教会を訪れたとき、その風景を絵に残したいと思ったのがきっかけ。帰国後、さっそく絵の具を買って撮ってきた写真を参考に最初の作品が完成した。その後も、何度も訪れているハワイを描いては自宅に飾り、仕事に疲れて帰った夜に眺めてリフレッシュする。

描き始めてまもなく、昭和小学校の同級生、田中英雄さんに誘われ美術グループ「ASA 23人の会」に入り、年2回のグループ展に出品したり、金融機関のロビーや喫茶店で展示してきたが、画廊での本格的な個展は今回が初めて。会期中に約230人の来場者があったという。

ハワイの人のやさしさと、光の明るさに魅せられた大崎さんは、これからも大好きなハワイを描き続けていくという。

編集後記

桜友会は3年後の昭和小学校創立60周年の記念事業について本格的に検討に入ります。5月9日の学年幹事会でみなさんのご意見を伺うとともに、委員（役員）と学年幹事の代表で、「検討委員会」といったものをつくることを提案する予定です。そこで具体的にどんな事業を行うか、2年間かけて考えていただきたいと思えます。

これまで年1回だった桜友会会報の発行を今年から年2回としてみました。

会員のみなさんのコミュニケーションの場としての会報の役割を充実させたいと考えたからです。今回もクラスのレポートのほか、長屋さんの文化行事での講演、大崎さんの絵画の個展、大隅さんの「ひとり蚤の市」など同窓生の活躍を紹介しました。

文学、美術、音楽などの文化活動、スポーツでの活躍やさまざまなボランティア活動など、会員のみなさんがんばりを紹介していきたいと思えます。自分のことでも同級生のことでも、どしどし会報に投稿してください。また、書くのはどうもという場合には会報担当者が取材させていただきますので、情報提供だけでも結構です。

また、クラス会、同期会などについても必ずお知らせください。

次号は、今年度の総会・懇親会の詳しいお知らせとあわせて8月中の発行を目指します。